

平成26年度第11回「墨田区子ども・子育て会議」・ 「乳幼児ワーキンググループ」議事要旨

日時：平成26年12月22日（月）午後6時30分～8時15分
会場：すみだリバーサイドホール（イベントホール）

次 第

1 開会

2 議題

議 題	資料№
（１）区立幼稚園の利用者負担額（保育料等）について	資料 1
（２）乳幼児ワーキンググループ専門委員会提言について	資料 2
（３）墨田区次世代育成支援行動計画 将来像の指標（目標）について	資料 3
（４）教育・保育施設及び地域子育て支援事業の量の見込みと確保策について	資料 4～7
（５）墨田区保育所整備指針に基づく取組方針について	資料 8
（６）子育て支援員について	資料 9
（７）その他	

3 次回の予定

日 時：平成27年1月6日（火）午後6時30分～8時30分

会 場：すみだリバーサイドホール（イベントホール）

主な議題：墨田区子ども・子育て支援事業計画 墨田区次世代育成支援行動計画の素案について

4 閉会

配布資料

資料 1	区立幼稚園の利用者負担額（保育料等）について
資料 2	乳幼児ワーキンググループ専門委員会 提言
資料 3	墨田区次世代育成支援行動計画 将来像の指標（目標）【案】
資料 4	教育・保育施設の量の見込みの考え方
資料 5	教育・保育の確保量イメージ
資料 6	教育・保育の量の見込みと確保策の内容
資料 7	病児・病後児保育事業の量の見込みと確保策
資料 8	墨田区保育所整備指針に基づく取組方針
資料 9	「子育て支援員（仮称）」の創設について（案）【国資料】

出席者(敬称略)

○委員

長田 朋久(横川さくら保育園長)
高嶋 景子(田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授)
佐藤 まり子(ムーミン保育室施設長)
佐藤 摩耶子(公募)
荘司 美幸(公募)
徳野 奈穂子(公募)
青塚 史子(太平保育園長)
貞松 成(株式会社 global bridge 代表取締役)

<欠席委員>

西島 由美(にしじま小児科院長)
賀川 祐二(NPO 法人 病児保育を作る会代表理事)
財津 亜紀子(文花子育てひろば施設長)
杉浦 浄澄(江東学園幼稚園副園長)
本多 美絵子(両国幼稚園副園長)
多胡 晴子(公募)
荒木 尚子(緑幼稚園長)

<傍聴>

なし

○課長出席者

関口 芳正(子ども・子育て支援担当部長) 小倉 孝弘(子育て支援課長) 鈴木 一郎(子ども課長) 村田 里美(子育て支援総合センター館長) 齋藤 好正(学務課長)

○事務局出席者(検討チーム含む)

浦辺・井場・遠藤・松本・田村・酒井・杉崎・高橋・長山・三浦・坂田・梅原・小川

○事務局(株)地域総合計画研究所)

大鹿・佐々木・森井

1 開会

事務局	これより、乳幼児ワーキンググループ（以下、WG）を始める。
-----	-------------------------------

2 議題

(1) 区立幼稚園の利用者負担額(保育料等)について

事務局	(資料1について説明) 何か意見や質問はあるか。(特に意見なし)
-----	-------------------------------------

(2) 乳幼児ワーキンググループ専門委員会提言について

委員	(資料2について説明)
委員	モデル園は一般に区民に公表されるのか。
事務局	モデル園はこれから設置することになる。決定したら、子ども・子育て会議には公表できるだろう。ただし、一般区民への公表の仕方は難しい。予算説明の中では公表はできるが、今回はまだ予算が確定していないため、現時点で公表はできない。これは研究校の形を取るため、それによって保護者がその園に希望を出すのは望むところではない。
委員	これは継続的に行うものなのか。
事務局	継続的に行うが、特定の園だけが行うのではなく、公立保育園、私立保育園、公立幼稚園、私立幼稚園の各1園ずつで、質を高める研究プロジェクトや研究発表を行い、高嶋委員などにコーディネーターになってもらい、その園の取り組みを見ていくものである。
委員	このプロジェクトは、1年を通して取り組むもので、結果は1年が経ってみないと分からないが、その研究を基に質の向上を期待するものである、また、実施園は1年ずつ回していくため、それにより、区全体で質が向上していければよい。
委員	公開保育とは何か。
委員	一般的に保護者に向けた公開ではなく、区内の保育園等施設の職員などに対する公開で、その中で職員間により検討や議論を行い、共有していく実施方法である。今回は、4校とも年に1回以上、必ず公開保育を行うこととしている。ただし、公開の範囲はこれから検討する。
委員	一般にモデル園は公開しない方向の中で、何か行っている動きが見えてしまうのはいかがか。むしろ、保護者に説明した方がよいのではないか。
事務局	入園の際に公表する必要もないが、隠す必要もない。これは学校で行われている研究校としての取組と同様で、そこに一般区民や保護者は入らない。ただし、学校でいう公開授業とは異なる。どこかの段階で公表しても良いが、それにより何か違ってくるものではなく、その園だけで特別な取り組みをしているわけでもないため、誤解を与えないようにしたい。
委員	その説明をした方がよいのではないか。伏せる必要はないし、PRする必要もないが、どのように誤解を与えずに説明したらよいだろうか。
事務局	周知方法は工夫する。積極的に保護者へPRする必要はないが、墨田区全体として質の向上の取り組みを行っており、今年度はこの園と公表する程度でよいのではないか。

委員	今まで各園内で同様の取り組みは行ってきたと思うが、このプロジェクトと異なる点は何か。
委員	新制度により、公立・私立、保育園・幼稚園の枠を超えて教育・保育を考えていくとしていることを契機に、墨田区内でも子どもにとっての教育・保育を考える風土ができればよい。研究テーマも特定のテーマを手掛かりとして掲げ、その園で 1 年を通してアドバイザーが関わりながら継続的に取り組んで質を高めていくことに意義があるのではないか。

(3) 墨田区次世代育成支援後期行動計画 将来像の指標(目標)について

事務局	(資料 3 について説明)
委員	墨田区に住みたい子どもの割合について、目標を 65%と掲げているが、グローバルな活躍を志している子どももいる中で、これでよろしいかどうか。
事務局	区として、そのような願いもあり、継続的に設けることを考えている。
委員	子どもに関する部分で、子どもに対して、今、楽しいかどうかを聞き、今の生活を楽しいと感じる子どもの割合とすれば、普遍的でよいのではないか。
事務局	区民を対象として行っている住民意識調査において、墨田区に住みたい人の割合を設けている関係もあることから、この項目を設けている。
委員	継続的に調査する意義は分かった上で、次回の調査でそのような項目を新たに増やすことは可能か。
事務局	乳幼児 WG として、そのような意見であれば、親会議にも諮った上で決める流れとなる。
委員	では、そのように検討するようにお願いしたい。
委員	その質問の目標値を 65%としている意図は何か。
事務局	子どもの時から地元の墨田区を愛し、大人になっても住みたいと考えるようになってほしいという希望がある。
委員	中高生の多くは、そのように考えないのではないかと。おそらく、そのように聞かれているため、そのように答えた方がよいとの考えから答えているのではないかと。先ほどの増やしてほしい項目の方が現実性があるだろう。 また、子育て家庭において、孤独を感じる人が多くなっている中で、地域のつながりがあると感じる人も多くなっているという矛盾している部分にヒントがあるのではないかと。
事務局 (地域研)	今回の不安と孤立の質問文では、前回の質問文と異なっている部分もあり、質問の方法も見直したい。また、家庭内における夫との関係もあるのではないかと考え、新たに父親の項目を追加することを提案している。
委員	前回の質問とは、どのように異なっているのか。
事務局 (地域研)	平成 20 年では、「家族や周囲の理解・協力が得られずに」と前置きがあったが、今回の平成 25 年では、その前書き部分がなかった。
委員	このような違いがあったため、今回はその前置き部分を付け足しておくという提案である。
委員	不安や孤独は多少なりとも誰しも感じるため、前置きがあった方がよい。
委員	最後の事業者の項目は、学齢 WG での検討となるのか。
事務局	この項目は、学齢 WG で出された案件であり、内容的にも学齢 WG であるため、学齢

	WG で意見を聞いて進めたい。
委員	父親の育児休業の取得割合について、現在は約 1.8% で、その 6 割は 2 週間以内の取得日数となっているが、その状況でこの評価項目を設けるのがどの程度、意味があるのか。ここに、日数を入れた方がよいのではないか。
事務局	支援計画でもワーク・ライフ・バランスが入っている関係から、新規に入れる意義はあり、追加しようと考えている。また、委員意見の現状にはあるが、日数についてはニーズ調査の中で、取得の有無の次の設問で、取得日数を聞いていく方法もあり、そのような形で検討したい。

(4) 教育・保育施設及び地域子育て支援事業の量の見込みと確保策について

事務局	(資料 4～7 について説明)
委員	内容について承認いただければと思うが、承認でよろしいか。(特に意見なし)

(5) 墨田区保育所整備指針に基づく取組方針について

事務局	(資料 8 について説明)
委員	これは報告事項でよいのか。
事務局	取組方針は子ども・子育て会議に諮る必要はないものの、これまでの経緯から、会議で報告し、意見があればいただきたい考えている。
委員	何か意見等はあるか。(特に意見なし)

(6) 子育て支援員について

事務局	(資料 9 について説明)
委員	この件は、情報提供という形とする。

(7) その他

事務局	事務局から特に報告等はない。
-----	----------------

3 次回の予定

事務局	次回の乳幼児 WG は未定だが、親会議は 1 月 14 日(水)の 18 時 30 分から、区役所 13 階の 131 会議室で行う。
委員	本日はこれで閉会とする。

以上